

芝浦工業大学、学生の技術と創造性を生かす ビジネスモデルコンペを開催

第 10 回芝浦ビジネスモデルコンペティション

* * *

芝浦工業大学（東京都江東区／学長 山田純）は 10 月 5 日、第 10 回芝浦ビジネスモデルコンペティション（以下、SBMC）のファイナルステージを開催しました。

SBMC は、学生が社会課題の解決につながるビジネスモデルを提案するコンペティションで、今年で 10 回目を迎えました。工学・技術分野に強みを持つ本学では、こうした活動を通して、学生や研究室が保有する技術シーズを社会に生かすアイデア創出を支援し、技術の社会実装を後押ししています。

芝浦工業大学は技術教育だけでなく、社会実装を見据えた教育を積極的に展開しており、SBMC も含めた体系的なアントレプレナーシップ教育を一層推進してまいります。

第 10 回芝浦ビジネスモデルコンペティション 最終結果

最優秀賞	AI との差別化に悩むクリエイターのための、作品の制作過程を販売できるアプリ
優秀賞	おうちの菌を可視化&最適化！『加菌』で除菌・抗菌の先へ ～空気をコーディネート～
優秀賞	心環 ～ 断たれた循環を結び直す、自律神経の環～



第 10 回ファイナルステージの様子

■ 最優秀賞 提案概要

最優秀賞を受賞したチーム「Lapsell」は、生成 AI の進化により脅威を感じるデザイナーやイラストレーターをはじめとするクリエイターのために、「制作過程」というストーリーで作品に新たな価値を生み出す仕組みを提案しました。この仕組みでは、クリエイターの作品の制作過程をファンが 10 分単位で購入します。ファンは支援した時間に対応する制作動画を視聴でき、「この作品のこの部分を支援した」というデジタル証明書（NFT）が付与されます。クリエイターが将来有名になれば、その証明書の価値が高まる可能性もあります。急速に進化する AI 技術によって生じた社会課題に着目し、クリエイターの創造性と価値を守るという観点に基づいた独自性あふれるアイデアが高く評価されました。



チーム Lapsell 受賞の様子

■ 第 10 回芝浦ビジネスモデルコンペティション（SBMC）開催概要

第 10 回 SBMC は『アイデアとテクノロジーでより良い社会に貢献しよう』というテーマで多様なビジネスモデルを募集し、中高生や他大学の学生、社会人を含む 48 チーム、169 人から応募がありました。パートナー企業・団体からの支援が充実しており、第 10 回 SBMC では 8 本の企業賞（NEDO 賞含む）が授与されました。各賞の詳細は SBMC 特設 Web サイトをご覧ください。

特設 Web サイト：<https://sbmc.shibaura-it.ac.jp/>

芝浦工業大学とは

工学部／システム理工学部／デザイン工学部／建築学部／大学院理工学研究科

<https://www.shibaura-it.ac.jp/>

理工系大学として日本屈指の学生海外派遣数を誇るグローバル教育と、多くの学生が参画する産学連携の研究活動が特長の大学です。東京都（豊洲）と埼玉県（大宮）に 2 つのキャンパス、4 学部 1 研究科を有し、約 9,500 人の学生と約 300 人の専任教員が所属。2024 年には工学部が学科制から課程制に移行。2025 年にデザイン工学部、2026 年にはシステム理工学部で教育体制を再編し、新しい理工学教育のあり方を追求していきます。創立 100 周年を迎える 2027 年にはアジア工科系大学トップ 10 を目指し、教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

取材に関する問い合わせ先

学校法人 芝浦工業大学 入試・広報部 企画広報課 本澤

TEL 03-5859-7070 FAX 03-5859-7071 E-mail koho@ow.shibaura-it.ac.jp

以上